

大名みえ子です



原子力所在地域首長懇談会が、原電社長に要求書を手渡す

2月9日（木）17時～

原子力所在地域首長懇談会は、原電との間で交わしている「覚書」における「安全協定の見直し」について、原電が当初の約束どおりの回答をしなかったため、9日、東海村産業・情報プラザにて、「安全協定第5条の乙（東海村）に該当する自治体に、ひたちなか市、日立市、常陸太田市、那珂市、水戸市も加えるという見直しを誠実に履行する」よう要望書を手渡しました。冷たい雨が降る日でしたが、産業・情報プラザ（アイヴィル）の入り口には、16時くらいから住民が集まり始め、「原電は、安全協定の見直しを約束どおり行うべき」と、原電への訴えと、首長懇談会への激励を行っていました。原電の誠実・真摯な対応を期待します。



「無料法律相談会」に弁護士を派遣してくださる水戸翔（はばたき）合同法律事務所に、女性弁護士入所、紹介の集い

2月10日（金）18時30分～

水戸翔合同法律事務所は、県内最大（弁護士6名）の事務所ですが、このほど26歳の三村悠紀子弁護士が入所され、10日、多くの関係者に紹介される集いがあり出席してきました。

三村弁護士は、「東北大震災を仙台で経験した際に、悩みを抱える方々に何ら助力ができない自分の無力さを痛感し、将来は人の力になれるよう自分なりの知識・能力を蓄えようと法学に励んだことがきっかけで、弁護士を志した。弁護士として一步を踏み出し、それも身近な問題から専門的な問題まで広く取り扱える当事務所において、みなさまの様々な悩みにお力添えができることに、何よりも幸福なことと感じる」とあいさつされ、拍手で歓迎されました。



勝木田下の内線が3月下旬開通しますー

東海村中央地区区画整理事業に伴って建設される村道「勝木田下の内線」の内、駆上り線と五反田線の間が完成し、この3月下旬には開通の運びとなりました。中丸小や東海南中の通学路に指定されている駆上り線との交差点には、信号機も設置されます。新たな道路が接続され、利用が待たれていましたが、交通の流れが複雑になりますので、事故など起きないように、十分留意も必要になっています。

五反田線から原研通りまでの間の開通には、まだ時間がかかります。

十分な健康チェックを！

特発性間質性肺炎(指定難病85)

親しい友人が特発性間質性肺炎の急性増悪で緊急入院しました。肺胞の外側（肺間質）に炎症を起こす間質性肺炎、原因が特定できないものを「特発性間質性肺炎」というそうです。息苦しさ→呼吸困難など命の危機に関わることもあるとのこと。

